

第4回 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会 議事概要

●第4回 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会

- ・日時：令和5年2月6日(月)9:30~11:30
- ・場所：四万十市防災センター会議室
- ・出席者：四万十市長、四万十市教育委員会教育長、四万十市区長会会長、
中村商工会議所会頭、(一社)四万十市観光協会会長、
(一社)中村青年会議所理事長、四万十つるの里づくりの会会長、
四万十川自然再生協議会会長、国土交通省中村河川国道事務所所長
- ・講師：新潟県佐渡市長
- ・事務局：中村河川国道事務所、(公財)日本生態系協会

●開催状況



●議事

- ・「四万十川流域におけるツル類の飛来・生息状況」、「今年度の取組報告及び来年度の取組の方向性」について議論した。
また、人とトキが共に生きる島づくりを進めている新潟県佐渡市との意見交換会を行った。

●主な意見

□来年度の取組の方向性について

- ・今年度取り組んだ堤内地での代替ねぐら箇所でのナベヅルの利用が確認され、3年ぶりの越冬につながったことから、来年度も引き続き、代替ねぐら環境の創出を行いたい。
- ・ツルの自然体験学習会も継続して開催するとともに、他地域の学校との交流授業を調整していく。

□新潟県佐渡市との意見交換会について

- ・今回の講演で、観光産業をはじめとした産業と生きものとの関わり方のヒントをいただいたので、今後の取組の参考にしたい。
- ・佐渡市では狩猟の制限はしていない。トキの放鳥にあたっては、狩猟等の色々な意見があったが、話し合いながら進め、現在では特に問題は発生していない。
- ・ツルをテーマにして米を売ることはあり得ると思う。ただ、どのような販売戦略で進めるのかについて検討が必要である。